

令和6年度
熊本保健科学大学 卒業式・修了式写真左は、厳肅な雰囲気
の中で執り行われた令和
6年度卒業式・修了式の
会場。同右は、式辞を述
べる竹屋学長

令和6年度卒業式・修了式

誇り胸に347人 巣立ちの春

令和6（2024）年度の卒業式・修了式が14日（金）、熊本市中央区の同市民
会館シアーズホーム夢ホールであり、学部、大学院、助産別科の計347人が慣れ
親しんだ学び舎や恩師に別れを告げ、社会に巣立ちました。卒業生・修了生の内訳は、
学部生313人、大学院保健科
学研究科13人、助産別科21
人。式典では、国歌斉唱に
続き、竹屋元裕学長が学
科・専攻、研究科、別科の
各代表に次々と学位記・修
了証書を授与。成績優秀者、
酒匂賞受賞者などを表彰し
ました。引き続き、式辞に立った
竹屋学長は、冒頭、新型コ
ロナウイルス感染症のパン
デミックが続いていた4年
前の入学式を振り返り、
「皆さんは新型コロナウイルス
との闘いに勝利した。感
染症への対応という貴重
な経験は、医療人としての
将来にとって、かけがえの
ない財産となるはず」と語
りました。また、「不安定
で不確実な時代」「人生100
年時代」を生き抜く医療人
の一人として、しっかりと
前を見据えて人生の歩みを
進めるとともに、「生涯にわたり自己研鑽に努め、最
新の知識・技術を身につけ
ることが大切」と語り掛け
ました。最後に「熊本保健
科学大学を卒業したという
誇りを持って、大きく社会
に羽ばたいていかれること
を心から祈念します」と締
めました。熊本市医師会の園田寛会
長の来賓祝辞、祝電披露に
続き、在校生代表の内田拓
斗さん（リハビリテーショ
ン学科理学療法学専攻3
年）が送辞を述べました。
これに対し、卒業生代表と
して山下光さん（医学検査
学科）が登壇し、「大学で
過ごした日々は自分自身の
人生にとってかけがえのな
い時間。大学生活で培った
ことを忘れず、熊本保健科
学大学卒業生としての誇り
を持ち、広く社会に貢献し
ていきたい」と答辞を述べ
ました。（NL編集部）

被表彰者（敬称略）

【総合成績最優秀者】庄野里菜子（医
学検査学科）、塚脇琴子（看護学科）、
米田直矢（リハビリテーション学科理学
療法学専攻）、日高麗良（同生活機能療
法学専攻）、伊達ひなた（同言語聴覚学
専攻）、伊達野乃花（助産別科）【GPA賞】福島ひなの、山下光、庄野里
菜子、鶴田真紀、谷口侑紀（以上医学検
査学科）、塚脇琴子、守田玲、野方塔子、
赤星優月、立川朋佳、藤本朱理（以上看
護学科）、日高麗良、井上沙耶、三藤早
織、藤寄葵梨、永野巴菜（以上リハビリ
テーション学科生活機能療法学専攻）、
伊達ひなた、宮崎江梨香、園田麻里菜
（以上同言語聴覚学専攻）【優秀論文賞】中村将己（保健科学研
究科保健科学専攻臨床検査領域）、八巻
魁成（同リハビリテーション領域）【酒匂賞】船越海人（リハビリテー
ション学科理学療法学専攻）、日高麗良
（同生活機能療法学専攻）【特別表彰】前迫雅文（医学検査学
科）【学部長表彰（学術賞）】上妻SG卒業
研究・血小板班（医学検査学科＝石本凌
大、稲嶺沙妃、奥村尚優、西島朋香）

卒業式点描

答辞を述べる山下光さん（医学検査学科）



学位記・修了証書授与



学位記・修了証書を受け取る、①庄野里菜子さん（医学検査学科）、②塚脇琴子さん（看護学科）、③下田麻衣さん（リハビリテーション学科理学療法学専攻）、④日高麗良さん（同生活機能療法学専攻）、⑤伊達ひなたさん（同言語聴覚学専攻）、⑥大井拓帆さん（大学院）、⑦伊達野乃花さん（助産別科）

卒業生・修了生ひと言

◇古澤希羽さん、園田麻里菜さん、谷口実優さん（言語聴覚学専攻） あっという間の4年間でした。勉強が大変だったけど、4年間頑張ってよかったです。みんなと仲良くなれて楽しい学校生活でした。

◇大垣愛美さん、朝倉千恵さん、重信菜々美さん（看護学科） 3年生の実習が嫌だったけど、辛い実習も過ぎたら思い出に変わる！ 後輩の皆さんには、きついと思うけど、みんな（患者や利用者）のためになるから頑張してほしいです。

◇城戸涼平さん、澤本涼さん（理学療法学専攻） 4年間はあっという間で、充実していました。楽しかったです。最初、PTになろうと思って入学したけど、思ったことと違うこともありました。だけどPTに関わるうちにどんどん気持ちが高まって、今はPTを選んでよかったと思えます。

◇田嶋翠さん（助産別科） 1年間が早すぎて、入学式を鮮明に覚えてるぐらいあっという間でした。すごく大変だったけど、充実した1年でした。年齢はバラバラだったけど、すごく仲良く楽しく過ごせました。すごく尊い職業だから、助産師を目指す人たちは夢に向かって頑張してほしい。

◇永野巴菜さん（生活機能療法学専攻） 学校の講義や実習を通していろんな経験をして充実した4年間でした。卒業式を迎え、達成感がある一方で寂しさも感じています。後輩の皆さんには、これからまだまだ大変なことがあるけど、いろんな人を頼りながら頑張してほしいと言いたい。就職して頑張ります！

◇上野佑さん（医学検査学科） 4年間は楽しかった！卒業できてうれしいです。後輩の皆さん、毎回定期試験をちゃんとしとけば国試は受かるよ！

◇八巻魁成さん（大学院） 学部生の時と比べて自主的に学んでいかないといけないから、大変な2年間でした。でも、大学院は、興味関心があって知的好奇心が溢れる方には向いていると思いますよ。次（博士号取得）に向かってワクワクな気持ちで卒業できます。



◇「ひと言」インタビュアーは、学生広報スタッフ（下園玲美、下田若奈、末田凜、副島一流）が担当しました

卒業式点描



アカデミックスキル
支援センター

レポート

奮闘中です！ 学生広報スタッフ 新入生に向け特別号、動画製作

アカデミックスキル支援センターでは現在、学生広報スタッフが、4月に入学してくる新入生に向けた「週刊NEWSLETTER 新入生特別号」（4頁）を製作中です。

本年度の見開き（2、3頁）特集テーマは「出会い」。入学直後は、周りに知った人が誰もいないという学生が少なくありません。そこで抱く不安を少しでも取り除こうと、授業や学生活動などいくつかの出会いの場を紹介しています。並行して、広報スタッフを紹介するPR動画も製作中です。

広報スタッフNEWSLETTER班として2月下旬から紙面製作にあたっているのは、看護学科2年の副島一流さん、下田埜乃さんら5人（2面にメンバー名）です。一方、動画は永田紗彩さん（医学検査学科2年）をリーダーとしてリハビリテーション学科理学療法学科1年の5人が担当しています。

このうち、NEWSLETTER班の5人はこれまで、レストラン・ピア特集（週刊NEWSLETTER216号＝2023年11月6日配信）を手掛けたほか、今月14日（金）の卒業式では卒業生へのひと言インタ

ビューも受け持ちました。新年度からは長期の臨地実習が始まるため、今回の特集号づくりが広報スタッフとしては最後の活動。「楽しんで作っています。この紙面を見て、後に続く後輩たちが（広報スタッフに）名乗りを上げてくれたらうれしい」と、ロタに語っていました。

特別号は4月2日（水）の入学式で新入生と保護者に配布予定。動画は、視聴方法を検討中です。（NL編集部）



新入生特別号の編集作業をする
学生広報スタッフ

週間行事予定（3月25日～4月7日）	
3/26（水）	国家試験合格発表（ST）
3/27（木）	第2回利益相反に関する研修会
3/28（金）	P&P報告会
3/28（金）	ピア・サポ養成講座
3/31（月）、4/1（火）	辞令交付式
4/2（水）	入学式
4/3（木）	新入生オリエンテーション
4/7（月）	新入生歓迎会

◇次回「週刊NEWSLETTER」280号は4月7日（月）に配信します。